

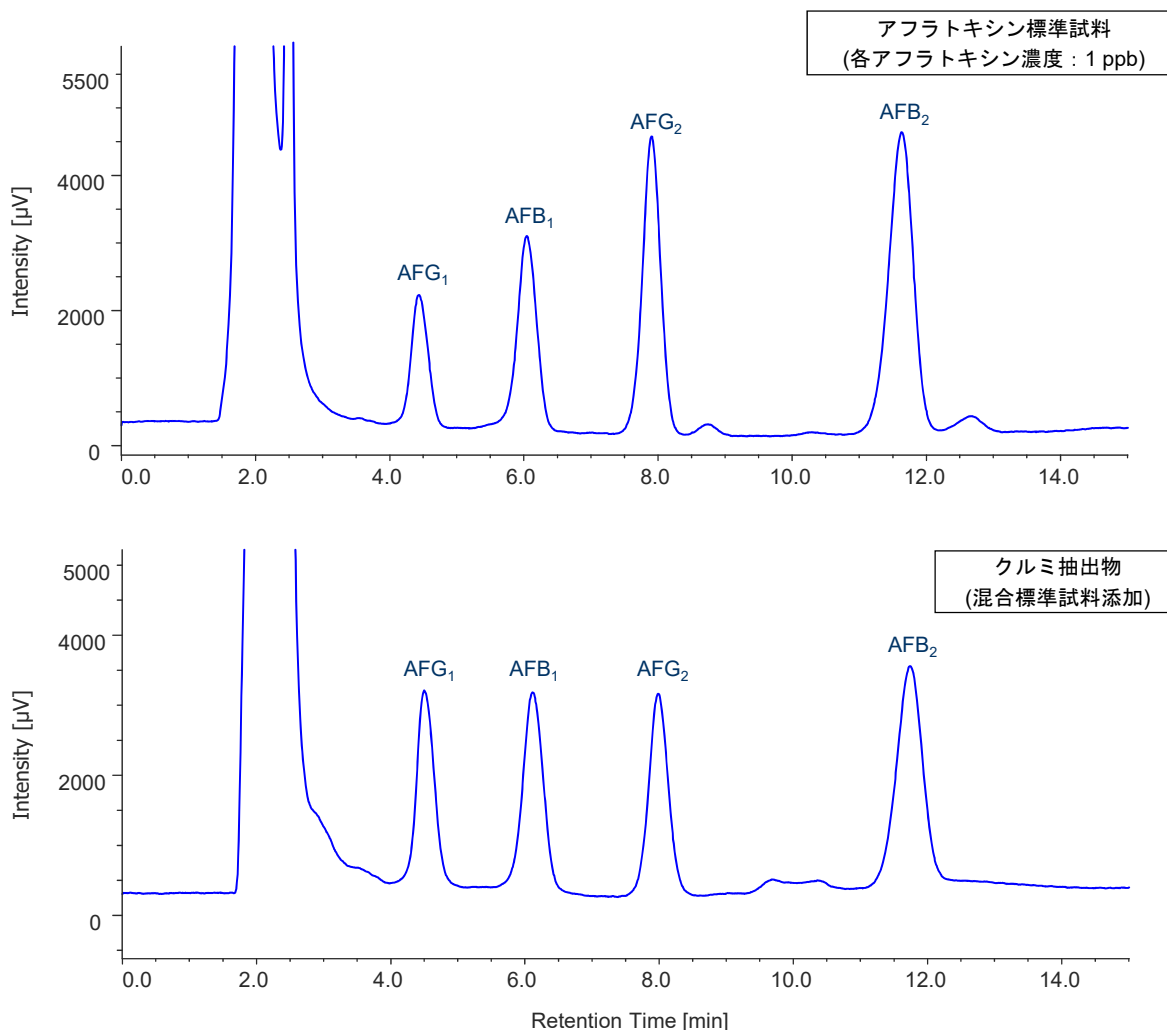
アフラトキシン類の分析

<測定条件>

カラム : J-Pak Symphonia C18 (4.6 mm I.D. × 150 mmL, 5 μm)
 検出 : FP Ex-365 nm, Em-400 nm
 移動相 : 水/メタノール/アセトニトリル (60/30/10)
 流量 : 1.0 mL/min
 カラム温度 : 40 °C
 測定試料 : アフラトキシン (AF) 混合標準試料、クルミ抽出物

<サンプル前処理>

標準試料および抽出物 (混合標準試料添加) を窒素気流下で溶媒除去し、残渣にトリフルオロ酢酸を加え蛍光検出のための誘導体化をした。誘導体化によりAFG₁およびAFB₁の蛍光強度が増加する (AFG₂、AFB₂は誘導体化されない)。



AFG₁ : アフラトキシンG₁, AFB₁ : アフラトキシンB₁, AFG₂ : アフラトキシンG₂, AFB₂ : アフラトキシンB₂

Keyword : Symphonia C18, C18カラム, 蛍光検出器, カビ毒, アフラトキシン類, 総アフラトキシン試験法